

活動報告

平成 28 年 8 月 18 日
大分県臨床工学技士会 渉外担当理事
西別府病院 阿部聖司

去る 7 月 29 日に別府支援学校石垣原校にて、支援学校の教師を対象に重症心身障害者（児）の人工呼吸療法についての講演を行った。医療分野の発展とともにこれまで助ける事ができなかった患児も救命できるようになった。一方で、人工呼吸器からの離脱が困難で、在宅または、慢性期病棟において人工呼吸器を装着したまま療養生活をする患児も増加しつつある。人工呼吸器を装着したまま学校教育をうける事も近年増加しており、今後課題となる分野であると考えます。

講義内容に関しては、人工呼吸器（学校教育などで使用するためのポータブル型人工呼吸器）の基本とトラブル対応、BVM の概要とした。学校関係者も臨床工学技士について初めての招聘だったと思われ、さまざまな事前質問をいただいた。また、講義内容を録画して頂き、今回出席できなかった教師の方々へも見ていただくということで臨床工学技士への関心は高かったと考える。

（事前質問：ME の方の仕事内容について教えてください。（全く知識が無いので）

人工呼吸器のモニター画面、文字や数値の意味、基本的なことを教えてください。

呼吸器もいくつか種類があると思いますが、その違い、おおまかでもいいので教えてください。

ME さんの立場から、患者さんの意識や感覚が推し量れることがあれば教えてください）

今後も機会を通し、臨床工学技士の業務内容や職業についての理解を得られればと考えた。

